

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 4 月 19 日 (2007.4.19)

【公表番号】特表 2002-539098 (P2002-539098A)
 【公表日】平成 14 年 11 月 19 日 (2002.11.19)
 【出願番号】特願 2000-603995 (P2000-603995)
 【国際特許分類】

C 0 7 C 45/30 (2006.01)

C 0 7 C 49/39 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 45/30

C 0 7 C 49/39

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 2 月 28 日 (2007.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 シクロブタノールを酸の存在下にアルカリ金属次亜塩素酸塩又はアルカリ土類金属次亜塩素酸塩により酸化することを特徴とするシクロブタノンの製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 9】

これは G C に従う 9 5 . 5 % の純度を有するシクロブタノン 5 9 . 4 g (理論の 8 4 . 7 %) を与える。

本発明の好適な実施態様は次のとおりである。

1 . シクロブタノールを酸の存在下にアルカリ金属次亜塩素酸塩又はアルカリ土類金属次亜塩素酸塩により酸化することを特徴とするシクロブタノンの製造方法。

2 . 酸として C₁ ~ C₄ - アルカン酸を使用することを特徴とする上記 1 に記載の方法。

3 . 次亜塩素酸ナトリウムを使用することを特徴とする上記 1 に記載の方法。

4 . 酸化を - 2 0 ~ + 3 0 の温度で行うことを特徴とする上記 1 に記載の方法。

5 . 最初に酸の存在下にシクロプロピルカルビノールの転位によりシクロブタノールを製造し、次いでシクロブタノールをその場で酸化してシクロブタノンを形成することを特徴とする上記 1 に記載の方法。